

今月の寺ともさん

ろくじょうがんか

六条眼科院長

たなかたけし

田中剛さん

今月の寺ともさんは、六条眼科院長の田中剛さんです。田中先生は、高校生の頃理系科目が得意だったこともあり、堅実なお医者さんを目指す決意をなさいました。そして医学生の実習で、人の視力は、成長とともに発達する機能であることを聞いて、目から鱗が落ちる程に感銘を受けたのでした。

先生が、大学を卒業した後は、今のような研修医制度のない時代で、すぐに大学病院の眼科に勤務なさいました。専門は、斜視弱視です。

この弱視は、何らかの原因で、視力の発達が阻害されている状態です。ただ当事者としては、他者と比較することもないので、そういう見え方が当たり前であり、特段の自覚症状はありません。

自覚症状がないだけに、三歳半健診や就学前健診で見つけないと、十歳ぐらいになると治療できなくなってしまうのだとか。

こうした健康診断が社会的に制度として完備していることは有難い



事だと教えて下さいました。

眼科を受診される患者さんで多いのは、やはり高齢者の慢性疾患である緑内障です。

緑内障は、人間の目がアンテナだとすると、アンテナにつながるケーブルが視神経です。このケーブルが萎縮する老化の一つが緑内障だと教えて下さいました。

困ったことに、緑内障は無自覚であり、元に戻らず、なおかつ進行性であることです。数年に一度は、眼科なり人間ドックに行つて眼底カメラで視神経をチェックしてもらいましようかと先生から皆さんへのメッセージです。初診時の想定より悪くならなかった時が眼科医として一番ホツとすると言つて下さいました。田中先生のお人柄が伝わって参りますね。今後も、ご活躍をお祈りしています。

ご自慢のペットちゃん

名前..花ちゃん

種類..トイプードル

好物..お魚・お肉・野菜・お母さん

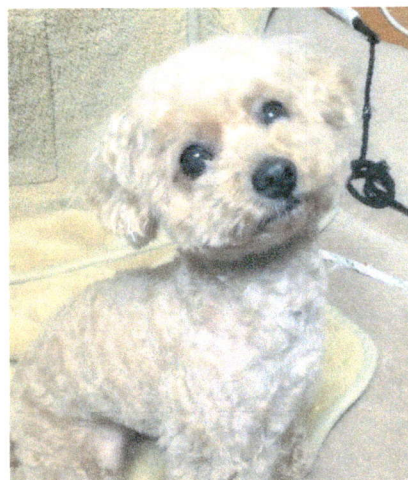
性別..♀

お年..十一歳

住所..神戸市 山本さん宅

性格..人間らしい

苦手..お風呂(顔に水がかかる)



エピソード..朝、お弁当を作っていると野菜の催促をする程の野菜好きです。てんかんの持病があり、お薬を飲んでいきます。そんな花ちゃんですが、先月行方不明になり、大騒動になりました。たまたま親切な方が保護して下さい、薬をもすぐる思いで、声をかけた車に乗せてもらっているのを発見しました。その親切な方と思わぬ交流が始まることにつながったそうです。気をつけてね、花ちゃん。

総代さん便り

皆様お変わりございませんか、総代の植田です。今夏の猛暑から一転、この秋は朝夕、冬の到来かと思われる天候にまどわされました。

そんな中、東北地方の松島瑞巖寺を訪れる機会がありました。八二八年慈覚大師の開創と伝えられ、臨済宗の禅寺となり、その後、藩祖伊達政宗公の造営により一六〇九年に落成しました。

現在、国宝の本堂・庫裡・御成玄関・廊下等国宝指定となっております。何度か松島を訪れましたが、初めて瑞巖寺を拝観して圧倒されました。境内の紅葉が見事でした。

